

# 平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	浄水場整備事業					継続					
コード	78	-	23	-	01	-	00	予算事業名	浄水場整備事業		
担当部署	事業推進部		水道施設課		計画担当		予算事業コード	会計	款 04	項 10	目 16

## 1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	水道法第2条
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	浄水場整備計画
施策	2	水道水の安定供給		
細施策	1	施設・設備の改修		

## 2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	全ての市民に安全な水道水を安定供給するとともに、限りある水資源を有効利用するため、老朽化した施設を更新し、機能の回復並びに維持管理の強化を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	水運用計画の中で各施設の役割及び能力を定めた上、緊急性の高い事業から優先して実施する。

## 3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		727,582	200,534	471,158	593,033	735,311	
事業費	A	675,797	158,128	431,691	560,001	696,187	497,957
	B	51,785	42,406	39,467	33,032	39,124	52,200
総コスト(C=A+B)		727,582	200,534	471,158	593,033	735,311	550,157
正規職員(1年間の従事人数)		7.00人	5.73人	5.33人	4.46人	5.29人	7.05人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		727,582	200,534	471,158	593,033	735,311	550,157

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額  
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

## 4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	更新工事進捗率	%	100.0	7.9	26.3	49.6	総事業費・年度毎決算額対比
活動	設計・管理	件	4	1	2	1	発注した設計委託の件数
活動	設備工事	件	4	2	6	6	発注した設備工事の件数

中心指標の考え方 本事業は、成果指標を中心に評価する。(平成20年度で、前期浄水場整備事業は終了、平成21年度から第二次浄水場整備事業が開始。)

指標に基づく評価 事業内容の見直しの余地はあるものの、成果指標の目的達成状況は良好である。

## 5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	有効性に課題
水需要が低迷し、将来的にも需要増は見込めない現状を考慮した、適正規模・経済性を図る必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
設備の経年化年数を超えている電気・機械設備総数について、平成21年度末において、埼玉県内各事業体の平均は39施設に対して本市は16施設であり、比較すると少ない施設数になっている。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
市民に安全な水道水の安定供給が出来なくなる。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
当事業は、市民への水道水の安定供給を確保する上で最も重要なものであるが、多くの時間と多額の費用を必要とする。しかしながら、近年の経済状況を反映し、水需要は低迷し給水収益も減少していることから、事業の実施にあたっては今後の水需要の動向を注視するとともに、適正規模・経済性を十分考慮し事業の推進に努める。	